

台湾はなぜ親日か？

夢は日本に行って、皇居と富士山を 見ること

1月31日のエントリーで親日の台湾、反日の韓国を取り上げましたが、考えてみると「[韓国](#)はなぜ反日か？」という有名サイトがあるのに、「[台湾](#)はなぜ親日か？」というサイトは見あたりません（私が知らないだけかも）。そこで日本と台湾の関係を知る基礎講座として、今回と次回の二回に分けて、「[台湾](#)につくした日本人列伝」をダイジェスト版で紹介致します。ご存知の方は飛ばして下さい（お馴染み国際派日本人養成講座 平成11年10月09日 NO108からです）。

■ 1 感謝される日本隊 ■

今回の台湾大地震では、日本がかなり目立った働きをした。地震発生当日の夜には、日本からの緊急援助隊が一番乗りし、「空港で一秒間も休まずに災害現場に駆けつけた」（地元マスコミ）。

規模も合計百二十五人と最大、機材も最新鋭、訓練、規律も最高とあって、地元マスコミに高く評価された。[1]

ファイバースコープや生存者の呼吸を電磁波で探知する「シリウス」と呼ばれるハイテク機器、赤外線探知機、さらに大型の切断器具などの最新鋭装備だけでなく、発見された遺体に敬礼を捧げたり、「（救助できずに）申し訳ありませんでした」と遺族に語る救助隊員の姿勢が、好感を持って報道されている。

日本時代に育った高齢者「多桑（とうさん）」世代を中心に、「よくやってくさいました。ありがとう。」と涙を浮かべながら、丁寧な日本語でねぎらいの言葉を寄せたり、食事を提供してくれる人も多い。被災地の、それも最も被害の甚大な場所にいながら、食事や水に困ったことがないという。[2]



第四代台湾総督の兒玉源太郎

■ 2 「多桑」世代の親日感情 ■

「多桑」とは、[台湾](#)語読みで「トーサン」、日本統治時代の「父さん」の名残である。94年に作られた映画「多桑」は、「金馬奨（[台湾のアカデミー賞](#)）」の観客投票最優秀作品賞を受けた。

映画の主人公セガは、日本教育を受けた世代で、戦後も何かにつけ、日本びいきだ。子供たちには「トーサン」と呼ばせ、家では日本のラジオ放送を聞き、ラジオの具体が悪くなると、日本製じゃないとだめだ、とぼやく。セガの夢は日本に行って、皇居と富士山を見ることだった。しかし、その夢を果たす前に、この世を去る。

始めは「奸漢（売国奴）」と非難していた長男も、成人して父親の心情を理解する。この長男が監督として、実体験に基づいて作った映画が「多桑」である。「多桑」世代の人々は、この作品を見て涙を流し、若い世代も関心を向けた。[3,p257]

しかし、「多桑」世代の人々は、なぜそんなに親日的なのだろうか。それは、今回の日本の救助隊と同様、いやそれよりもはるかに大きなスケールで、台湾のために尽くした多くの日本人がいたからである。今回は、それらの人々の一部を列伝風に紹介してみたい。

■ 3 児玉源太郎、後藤新平、新渡戸稲造 ■

明治31(1898)年、日本の台湾統治は、まだ3年目であり、あちこちに反抗勢力が残り、治安の確立も、産業の発展も立ち遅れていた。ここで第4代総督として任命されたのが、後に日露戦争でも活躍した児玉源太郎である。児玉は、後藤新平（後の東京市長）を民政長官に起用した。

後藤はもともと医師であり、社会衛生を重視した。アヘンに高率の税をかけ、吸引者を徐々に減らすと共に、その税金を衛生改善に当てた。当初16万9千人もいたアヘン吸引者は、50年後の日本敗戦時には皆無となっていた。

また、台湾は「瘴癘（しょうれい、風土病）の地」とも呼ばれ、台湾平時の日本軍戦死者164名に対し、病死者が実に4,642名という有様だった。[3,p306]

後藤は悪疫予防のために、上下水道を完備し、主要道路は舗装して、深い側溝を作り、汚水雨水の排出を速やかにした。これは当時の日本本土でも行われていなかった。

伝染病を抑えるために、台湾医学校を設立して、ここから多くの台湾人医師が育った。またほとんど都市の形をなしていなかった台北で、大都市計画を実行し、整然とした清潔な市街を作り上げた。

児玉と後藤が台湾農業振興のために、三顧の礼で迎えたのが、日本で最初の農学博士・新渡戸稲造である。新渡戸は、半年かけて台湾全土を巡り、製糖産業に目をつけた。そして品種改良、耕作方法、加工法の改善に取り組んだ。

この努力が実り、1900年に3万トンだった産糖は、1940年には160万トンとなり、台湾は世界有数の生産地となった。[4]

児玉は、後藤、新渡戸を全面的にバックアップするかたわら、各地を精力的に巡視して、80歳以上の老人男女を食事に招待する（饗老会）など、民心把握に努めた。日露戦争中は、満洲軍総参謀長となりながらも、台湾総督の職位を離れなかった。

児玉の死後、江ノ島に神社を作ろうという議が起こったが、予算11万円に対し、集まったのはわずか3千円であった。このことが台湾に伝わると、残りの金額はわずか2週間で集まった。台湾人民がいかに児玉を敬愛していたかが窺われる。[3,p292]



民政長官の後藤新平

■ 4 西郷菊次郎の治水工事 ■

西郷菊次郎は、西郷隆盛が沖縄に流されたおり、愛加那（あいかな）との間にもうけた子供である。[米国](#)留学の後、[台湾](#)が日本に割譲された明治28(1895)年から、約7年間、地方行政に携わった。

そのうち5年6ヶ月を、台湾の東北部、宜蘭（ぎらん）の庁長として務めた。宜蘭は[台湾](#)第二の平原である蘭陽平原にあり、そこを流れる宜蘭河は、毎年氾濫を起こし、民衆を苦しめていた。

西郷はこの治水工事に巨費を投じ、約1年半、延べ約74万人の人員を投入して、取り組んだ。この治水工事が成功して水害は根絶され、宜蘭の民衆有志は、その恩恵に感激して石碑を立てた。

この「西郷庁憲徳政碑」は、3m以上もの巨大なもので、漢文で西郷菊次郎の徳政を高く称えている。[3,p90]

■ 5 教育に殉じた六氏先生 ■

公衆衛生、治水、産業振興と並んで、重視されたのが、教育である。[台湾](#)割譲が決まった28年当時、文部省の学部長心得だった伊沢修二は、初代の台湾総督の樺山資紀に、教育を最優先すべきと具申し、自ら学務部の長となり、7人の教師と共に、台北の北方に芝山巖学堂を開いた。

当時は、日本への割譲に反対する清朝残党がゲリラ活動を続けており、台北奪回を目指す勢力が不穏な動きを続けていた。

それでも伊沢たちは学堂に泊まり込んで「身に寸鉄を帯ずして住民の群中に這入らねば、教育の仕事は出来ない。もし我々が国難に殉ずることがあれば、[台湾](#)子弟に日本国民としての精神を具体的に宣示できる」と、死をも覚悟して教育に打ち込んだ。

事件は翌明治29年元旦、伊沢の一時帰国中に起こった。叛乱勢力が元旦を期して台北を攻撃するという。人々は学堂に残っていた6人の教員にこのことを告げて、避難することを勧めた。



後に武士道を著述する新渡戸稲造

しかし「死して余栄あり、実に死に甲斐あり」との覚悟を示して6人の先生たち意に介さなかった。台北での拝賀式のため、山を降りた時、6人は約100名からなる勢力の襲撃を受けた。6人は教師らしく、諄々と教育の意義を説き、一時は説得できるかに思われたが、彼らの一部は聞き入れずに槍を持って襲いかかった。

6人はやむなく白兵戦で防ごうとしたが、衆寡敵せず、全員が惨殺されてしまった。

「命をかけて教育に当たる」という「六氏先生」の「芝山巖精神」は、その後、長く台湾教育の指針とされた。昭和5年には芝山巖神社が創建され、六氏先生をはじめとして、[台湾](#)教育に殉じた人々が、昭和8年までに330人祀られた。そのうち、[台湾](#)人教育者は24人を教えた。

芝山巖学堂が開かれて満百年にあたる平成7年、後身である士林国民小学（伊沢修二を初代校長とする）の卒業生有志は、六氏先生の墓を建て直し、日本からも遺族、関係者約50人が出席して、「開校百周年記念祝賀会」が盛大に開かれた。

芝山巖事件を詳しく調べている陳絢暉氏は、その著書「非情古跡・芝山巖」を次のように結んでいる。「仆（たお）れて後已（や）む」の芝山巖精神が永しえに[台湾](#)に根づくことが出来ますよう、地下の六氏先生にお頼み申し上げます。合掌。[3,p49]

カテゴリ: [コラム](#) フォルダ: [指定なし](#)   

[コメント\(8\)](#)

タグ: [台湾](#) [親日](#) [児玉源太郎](#) [後藤新平](#) [新渡戸稲造](#) [西郷菊次郎](#) [伊沢修二](#) [芝山巖精神](#)

コメント(8)

[コメントを書く場合はログインしてください。](#)



Commented by [患者ID112904](#) さん

2009/02/04 22:59

こんばんは。
花うさぎさん

エントリ外のコメントですみません。

八丁堀さんのブログで読売新聞の記事が紹介されていました。

>国の定額給付金の支給を巡って、川崎市の阿部孝夫市長は3日の記者会見で、福祉や緑化、産業振興など、使用目的を指定して同市に寄付する方法を紹介する文書を、各世帯に郵送する意向を明らかにした。

そこで貴殿の1月14日のある村長の「期待はずれ」のエントリを思い出したような・・・と思いつい無断で上記エントリ記事の紹介をしています。

不快な思いされましたらお許し下さい。

2009/02/05 06:20

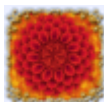


Commented by **花うさぎさん**
To くぼたさん おはようございます。

>そこで貴殿の1月14日のある村長の「期待はずれ」のエントリを思い出したような・・・と思いつい無断で上記エントリ記事の紹介をしています。

わざわざありがとうございます。「反日勢力を斬る **イザ!**」さんからもTB頂きました。川崎ですか?、在日の生活保護に消えそうですね。市民のみなさん、騙されてはいけません、しっかり貰って自分のために使いましょう。

民主も共産もここに来て定額給付金を認めてきたのに、麻生さんは「自分は受け取るつもりがない」とは不味いですね。「有り難く頂戴し自分は**救う会**・**家族会**に寄付する」とか言ってくれれば良かったのに(^_^);



Commented by **el☆さん**
花うさぎ様へ

2009/02/05 12:28

こんにちは。貴方様は本当に熱心で感心致します。素晴らしい日本人ですね☆



Commented by **yuuitirouさん**
貴重な情報ありがとうございました。

2009/02/05 13:58

こういう歴史的事実を **自民党**諸君にも堂々と発信してもらいたいものです。



Commented by **花うさぎさん**
To kyoQさん こんにちは。

2009/02/05 14:01

>こんにちは。貴方様は本当に熱心で感心致します。

ありがとうございます。素直に受け取りますです(^_^)。



Commented by **花うさぎさん**
To yuuitirouさん

2009/02/05 14:05

>こういう歴史的事実を **自民党**諸君にも堂々と発信してもらいたいものです。

こういう近現代史の史実をちゃんと知っている議員は限られると思いますね。いつの間にか授業ですり込まれている認識を勉強し直して、入れ替えなければなりませんから。

その意味で田母神論文の検証をちゃんとやって欲しかったのですが。



Commented by **kokkikeiyouさん**
こんにちは

2009/02/05 14:47

私常に不思議に思っているのですが
左的な考えの方々は
日本が良く言われる事には耳に蓋をして
しかし弾劾されると大喜び
その顕著な例として
日本の悪口に対して大喜びで反応し
褒め言葉には不満そうな田嶋洋子氏なんてマゾですか?
(たかじんなんか見てて金さんと彼女どっちが日本人かと)

家庭で考えても
もし家族が褒められると喜ぶのが
自然だと思いますけどね



Commented by **花うさぎさん**
To kokkikeiyouさん こんにちは。

2009/02/05 17:01

>左的な考えの方々は
>日本が良く言われる事には耳に蓋をして
>しかし弾劾されると大喜び

基本的にはこの人達が日本を貶めているのです。日本は悪い国だった、特定アジアには永遠に誤り賠償し続けなければならない、とって日本が良い国になること戦後一貫して阻止してきた反日日本人です。

>褒め言葉には不満そうな田嶋洋子氏なんてマゾですか？
>(たかじんなんか見てて金さんと彼女どっちが日本人かと)

まあ番組を面白く見せる引き立て役ですが、金美麗さんと比較するのは可愛そうでしょう。金美麗さんは筋金入りの台湾独立の闘志ですから、鍛え方が違います。

>もし家族が褒められると喜ぶのが
>自然だと思いますけどね

それが普通の人の感情でしょうね(^^)。